

校内研修の年間計画の工夫③

小学校

年間を通じて
ミニ研修を行った取組

活用した資料

校内研修プログラムP24
－教師の言葉がけ－

○ 実践の概要

4月のミニ研修

好ましくない教師の言葉がけ	教師の好意に満ちた言葉がけ
「またA君か。誰かがけがしたら、どうするの。危ないって言ったでしょ！」	「みんなで仲よく遊ぶためにはどうしたらよいか、先生と一緒に考えてみよう。」
「早くしないと間に合わないよ。」	「時間に間に合うように、少しだけ準備するスピードを上げてみよう。」
「ちゃんと片付けなさい。」	「はさみとのりは、道具箱の中に片付けようね。」

本校では、「きめ細かな手立ては、全ての児童に有効である」という考えのもと、校内研修プログラムを活用し、研修を行いました。

研修は、教職員が参加しやすいように、1回の研修を30分程度の「ミニ研修」として実施しています。全教職員が、全ての児童に「配慮」と「支援」ができるよう、研修の充実を図っています。

本実践の「好意に満ちた教師の言葉がけ」も、その研修の一つであり、短い時間での研修を繰り返すことによって、年間を通して、特別支援教育の視点を意識できるようになりました。

○ 実践の成果

研修を通して、

- ・「好意に満ちた言葉がけは、実際の場面でも使いたいと感じた。」
- ・「言葉がけの大切さを改めて実感した。」
- ・「児童に、これまで以上に丁寧にかけたい。」

などの感想があり、児童への言葉がけの在り方を考える研修を通して、全体への支援の充実につながりました。